

## 文語の視聽覺教材をめぐりて（其の五）

土屋 博

### 一 萬葉集

#### ◎CD百枚組「犬養孝 萬葉集 CDベスト百卷」（學研）

犬養孝（一九〇七年生れ、一九九八年歿。大阪大學名譽教授、）の萬葉集に関する講話は、歿後四半世紀を経ても、なほ我々にとりて掛け替へ無き價値あるものと信ず。本篇は、過去に収録せられたる、犬養先生の全国各地に於ける講演テープをCD百枚に集約、再編集せるものなり。座右に備ふるに相應しく、學研は、實に有意義なる仕事をなせりと覺ゆ。

第一部萬葉のころ（CD一より十まで）、第二部萬葉の歌人（CD十一より六十五まで。磐姫、雄略天皇、額田王より、防人の歌、遣新羅使人の歌、庶民の歌まで）、第三部萬葉の風土（CD六十六より百まで。飛鳥路より東歌まで。）より構成せらる。

#### ◎VHS六卷組「ビデオ紀行 萬葉の海山」（NHK）

本ビデオは、NHK奈良放送局制作のもと、NHK大阪放送局より昭和五十七年より五十八年にかけて近畿一圓に亙り毎週月曜日六時半ニュースのあとに「萬葉散歩」と題し三分間放送せられたる犬養先生の講話を再編集したるものなり。音聲のみのCDに比して、動畫は、遙かに説得力高きこと、言ふまでも無し。

上巻は近畿一圓、中巻は近畿及び瀬戸内、九州、下巻は北陸、東國、山陰地方を収録す。定價は三萬圓也。

#### ◎VHS六卷組「萬葉の歌びと」（フジテレビ）

犬養先生喜寿記念の制作（昭和五十九年發賣）なれば、此の超豪華、映入りのVHSボックスには、制作者の犬養博士に寄する敬愛の情、溢れ漲る心地ぞする。

歌びと別の構成にて、額田王、柿本人麻呂、大伴旅人、山上憶良、山部赤人、大伴家持の六人の作品に重點を絞りにて解説す。

#### ◎DVD「犬養孝と歩く 萬葉の大和路 三」（犬養萬葉記念館に協力する會）

犬養先生の歿後、先生の遺志を引き継ぎ、愛弟子たち集ひて、かつて先生の何度も歩みたる萬葉に關はり深き場所を紀行するドキュメンタリー風のビデオなり。「かぎろひ立つ宇陀・阿騎野」（平成十四年）、「人戀ふる奈良山・佐保路」（平成十五年）、「紀へゆく道・巨勢まつち山」（平成十六年）の三つを収録す。本人は登場せざるも、隨所に氏の生前の録音鏝められ、全體として犬養先生を偲ぶ、味はひ深き作品とは相成れり。

#### ◎カセット十卷「萬葉の人びと」（NHK）

「萬葉の人びとより」なる標題のNHKのCD八枚組は別途既に所有せるも、元となりたるカセット版の原典の方も併せて手許に置く必要を感じたれば、敢て購入したる次第な

り。CD版に無き目当ては、十巻目の犬養博士インタビュー、「我が萬葉人生を語る」なり。また、豪華寫眞入りテキスト及び犬養先生直筆の色紙の附屬せるも魅力的なり。色紙には額田王のあかねさすの歌、萬葉假名にて「茜草指武良前野行標野行野守者不見哉君之袖布流」と記さる。

## 二 源氏物語

### ◎DVD二枚組「源氏物語を歩く・源氏物語の愛を語る」(講談社)

瀬戸内寂聴(一九二二年生れ、二〇二一年歿。東京女子大國語専攻部卒)の講談社版源氏物語全集全十冊豪華ボックスの附録品として二枚のDVD有り。「源氏物語を歩く」は、源氏物語の舞臺となる京都名所の紹介と寂聴の解説を含む。「源氏物語の愛を語る」は、一九九八年東京國際フォーラムに於ける寂聴の講演録なり。光源氏の愛したる女性の多くは出家し、源氏物語には宗教小説の側面ありとす。

## 三 和泉式部

### ◎カセット六巻組「古典講讀 和泉式部日記」(NHK)

昭和五十五年(一九八〇年)にNHKラジオ第二放送にて放送せられたるものを再編集せり。講師及び朗讀の馬場あき子(一九二八年生れ、日本女子専門學校(現昭和女子大)國文科卒)は歌人。曰く、「今より遡ること千年の昔にかくも深く愛の世界に身と心を委ねて嘆く女性のありたることを眞摯に見つめてみまし」と。「夢よりもはかなき世の中を、なげきわびつつ明かし暮らす程に、四月十餘日にもなりぬれば、木の下くらがりもてゆく」より文語的世界、現出せらる。定價一万三千圓也。

## 四 歎異抄

### ◎DVD三枚組「歎異抄をひらく」朗讀鈴木弘子(萬年堂)

高森顯徹編。原文(ただし殘念乍ら歴史的假名遣ひに非ずして現代假名遣ひ)、現代語意譯、解説の三種ディスクのセットなり。歎異とは異なることを嘆くの意なり。親鸞聖人(一一七三年生れ、一二六三年歿)の言葉、「善人なほもつて往生を遂ぐ。いはんや悪人をや」は餘りにも有名なり。

### ◎CD二枚組「歎異抄」朗讀金内吉男(新潮社)

完全朗讀版。朗讀四十分、解説四十六分。梅原猛の解説は秀逸。氏曰く、「學生時代より四十年間、讀むたびに新たな感動を受けたり」と。

### ◎ブルーレイ「歎異抄をひらく」(二万年堂)

二〇一九年に公開せられたるアニメ映畫なり。歎異抄本文の勉強用としては不適當なれど、唯圖執筆時の雰囲気、丁寧に描かれ、ほのぼのとしたる獨特の味はひ有り。映畫公開時の石坂浩二(一九四一年生れ、親鸞の聲役)による舞臺挨拶風景も収録せらる。

(令和四年十一月二十八日受附)